

Stand UP!

2015年12月2日

発行責任者 佐久間 晃史

NO. 19 編集責任者 情 宣 部

第12回日韓青年労働者交流!!

11月12日(事前学習会)～16日にかけて開催された第12回日韓青年労働者交流にJR総連全体で50名、貨物労組青年部から8名で参加してきました。今年は、韓国政府が労働諸法制の改悪を強引に進めていることから韓国労働者の怒りが爆発し、ソウル市内で開催された労働者大会には約13万人の労働者が結集しました。

～1日目～



1日目はチョン・テイル像への献花と、JR総連としての結団式を行いました。結団式では貨物労組青年部から九州地青・森青年部長と東京支部青・池田青年部長が「日本も韓国も労働者は厳しい立場にある。韓国の熱い運動を学ぶ。」と力強く決意表明を行い、その後、韓国の仲間を交えて交流会を開催しました。

～2日目～



2日目の「女性と戦争の人権博物館」の見学では、旧日本軍が従軍慰安婦として韓国の女性にしてきた行為の真実を学びました。

労働者大会では韓国労働者の熱い闘いを目の当たりにし、日本では経験できない規模のデモに参加してきました。

～3日目～



3日目は旧日本軍が韓国の「思想犯」を収容していた西大門(ソ・デムン)刑務所を見学し、午後からは韓国軌道連帯の青年労働者と、これからの労働運動について活発な意見交換を行いました。

今年の日韓青年労働者交流では貨物労組の参加者も積極的に発言し、韓国の労働者との交流を深める事が出来ました。また、過去に日本が非人道的な行為を朝鮮半島でしてきた真実を学ぶと共に、労働者大会では権力の横暴さを肌で感じ、国を問わず労働者の気持ちは一緒に憎むべきは権力者だという事を学んで来ました。これからは各国の労働者が国際的に連帯し、労働運動を推し進めていく事が重要になってきます。貨物労組青年部としてこれからも韓国の仲間との交流を深めていきます!!